

秦氏の活動とその聖書ルーツ



「弓月君、百濟より来帰り。因りて奏して曰さく、『臣、己が國の人夫百二十県を領いて帰化く。』」（日本書紀）

秦氏の出身地である弓月国は、3世紀～6世紀に栄えた中央アジアのキリスト教国でした。
彼らは古代日本に大陸からの先進文化を伝えましたが、その宗教的背景には聖書信仰があったと言われています。

今回の集まりでは、秦氏の活動の広がりと、彼らが持っていた信仰について見ていきます。

と き：2015年10月24日（土）13時～16時

ところ：京都市右京区龍安寺西ノ川町24-16 ヴィラセントアイビス202

（嵐電 龍安寺駅から徒歩3分）（TEL：090-3112-6512 / 山田）

お話し：畠田秀生氏（聖書と日本フォーラム会長）

